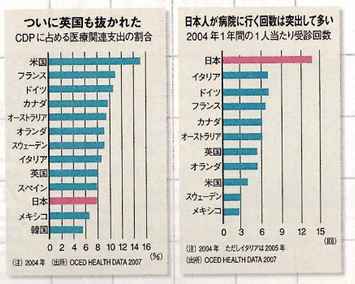


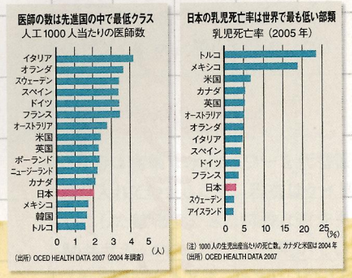


図1　医療に関する各国比較
（OECD HEALTH DATA 2007より）

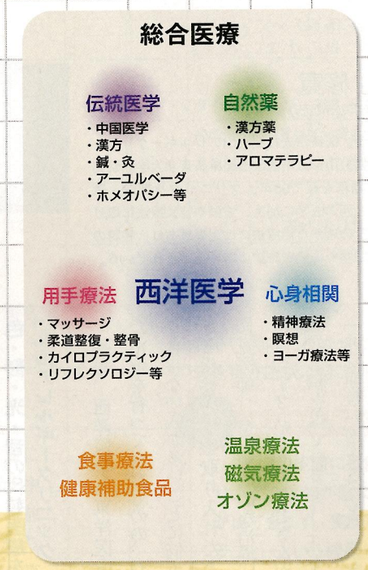


図2　統合医療の種類と関係

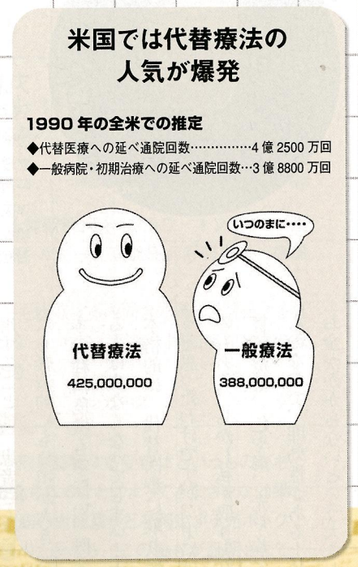


図3　アメリカの医療状況
（New England Jounal of Medicine:Vol.328より）

相補・代替医療（CAM）の種類

- 鍼
- 灸
- 漢方
- アーユルヴェーダ
- 気功
- 健康食品
- バイオフィードバック
- 絶食療法
- マクロビオティック
- 催眠療法
- 瞑想療法
- イメージ療法
- リラクゼーション法
- バッチフラワー療法
- キレーション療法
- ホメオパシー
- 植物療法（ハーブ）
- 代謝バイオ療法
（臓器療法酸素療法）
- マッサージ
- リフレクソロジー
- 指圧
- レイキ（霊気）
- アロマセラピー
- 太極拳
- ヨガ
- カイロプラクティック
- 音楽療法
- 芸術療法
- ダンスセラピー
- 信仰療法
- 祈りとスピリチュアリティほか

学です。また、患者個人の症状に合わせて治療を行うのはもちろん、疾病予防や健康増進への寄与を目指していくことも目的のひとつとなっています。

欧米諸国や中国、韓国、インドなどでは、既に国家政策として、この統合医療を積極的に支援しているそうです。特にアメリカでは、ハーバード大学のアイゼンバーグ準教授が92年に発表した「アメリカ国民の3分の1が代替医療を併用している」という統計に愕然として調査を開始、99年にはハーバード大学、コロンビア大学などアメリカを代表とする13の大学にCAM研究所を設立するとともに、代替医療の講義も取り入れて医学教育を進めています。現在では、ガン治療の96%は統合医療によるもので、よい成果を上げているそうです。

日本では、最近になってようやく大学院講座や医大に統合医療や代替医療の講義が少しずつ取り入れられてきているようですが、世界的な流れから見ればまだまだ鎖国状態と言っても過言ではありません。

厚労省は今年度、科学研究費の予算を拡幅、昨年度予算の10倍以上となる10億円を充て、統合医療の調査研究に乗り出し、来年度予算の概算要求に合わせて検討作業を進めていくとのこと。何事も決断するのが遅い日本。PTの調査結果が現場に反映されていくのはまだ先のことになりそうですが、統合医療や代替医療が保険適用になれば、救われる命は確実に増えるはず。厚労省の今後の動きに期待したいものです。

ホントはよく効く代替医療

取材・文／和場まさみ

世の中にあるさまざまな、医療、美容、民間信仰から迷信まで、健康にまつわるニュースやアイテムを紹介していきます。あなたにピッタリのお話が、きっとあるはずですよ！

NEWS

「統合医療プロジェクトチーム」を発足で代替医療に保険適用の可能性？

WHOでは健康の定義に「霊的（スピリチュアル）」要素をプラス

何らかの疾病を抱えている国民の数は年々増加し、それとともに医療費も増加の一途を辿っている昨今。医者不足も手伝って、日本の医療界の未来には暗雲が立ち込めていると言っても過言ではありません。

日本の医療はこれまで、西洋医学を基礎として国民の健康維持に大きく貢献してきました。しかし一方で、ガンをはじめとする難病の治療や、慢性疾患、不定愁訴の治療といった難題に対しては、いまだ十分に対応できていないのが現状です。また、西洋医学は科学的思考が強いため、「病気」そのものに焦点をあてがちで、「病人」の心身をホリスティックに捉えることができないのが難点。患者のQOL（Quality of Life）向上という面では決して理想的とはいえない部分も問題視されているのです。

そんな状況の中、今年2月5日、「統合医療に関するプロジェクトチーム（通称PT）」を厚生労働省とともに発足、その効果や安全性の分析を本格的に始めました。

今回のPTでは、統合医療の研究がさかんな米国立衛生研究所のジャンル分けを引用し、国内での実態把握から始めるとのこと。伝統医学としては、中国医学やインドの「アーユルベーダ」、イスラムの医学「ユナニ」、さらに断食療法や瞑想、磁気療法、オゾン療法、気功なども範疇に含まれています。

ちなみに1998年のWHO執行理事会では、健康の定義として「健康とは肉体的、精神的、ならびに社会的に良好な状態にある」というものに加え、「霊的（スピリチュアル）」という要素がプラスされたのですが、その決め手となったのが「ユナニ医学」だと言われているそうです。

統合医療とは西洋医学＋伝統医療さらに代替医療も加えた人間医療

「統合医療」とは、西洋医学を中心として、伝統医学や相補代替医療（CAM＝現代西洋医学以外でのすべての治療法と健康法）のよい点を取り入れて統合しながら、人を病気、臓器、部分ではなくホリスティックに見ていく医

DOCTOR & ITEM

丸山先生の『曼荼羅シート』『セラミックスシート ふわふわ』って知っていますか？

丸山 修寛
（まるやまのぶひろ）

医学博士。医療法人社団丸山アレルギークリニック理事長。山形大学医学部卒業。東北大学病院第一内科勤務を経て98年、クリニックを開院。東洋医学と西洋医学に加え、波動や音叉療法に取り組む。その確かな治療法には定評があり、独特の治療法で多くの健康雑誌に取り上げられている。

色・形・光・音の代替医療を実践する「丸山アレルギークリニック（仙台）」

長年、西洋医学と東洋医学を併用した治療を行ってきたものの、なかなか治りきらない人が多いことに悩み、15年前から代替医療を取り入れたという丸山修寛医師。その画期的な治療法は、一日に平均120人もの患者さんが訪れるほどの信頼を得ています。

「通院回数が増えること、薬を長期間使用することは、患者さんにとって肉体的にも経済的にも負担が大きい。まして日本の経済危機も手伝い、医者にかかれる人は少なくなってしまいます。そこで本格的に、代替医療に取り組んでみようと思ったわけですが、中には高額なものもある。しかし私が取り入れている代替医療は、色や形、光や音を利用するものなので、即効性がある上にほとんどお金がかからないという大きなメリットもあるのです」（丸山先生）

丸山先生のクリニックでは、「この症状にはこの治療法」という基本ラインにプラスして、個々の症状に合わせた治療法を併用していきます。そして、患者さんの同意を得て、より積極的に代替医療を取り入れていくそうです。

「例えばリューマチなど痛みを伴う病気には、漢方治療に加えて痛みを和らげる遠赤外線治療（生命力を活性させる特殊なセラミックスを幹部や脊髄に当てる）や、痛みを瞬時に取る曼荼羅シート（生命エネルギーを活性化させる）、患部の生体電気の異常を除去するコイル（銅製金属を特殊な方法でコイル状にしたもの）などを併用していくのですが、これらはかなり効果的で、軽い症状なら数分でとれてしまいます。それでも症状が改善しない場合には、玉川温泉の湯の花をシートにして貼りつけたり、その人が寝ている場所の電磁波環境を整える方法、アロマセラピーやデトックス療法（食事やサプリメントで体内毒素を追い出す）なども併用していきます」

人間は生きた楽器。「不調」を調律し目に光を取り戻した例も！

丸山先生はまた、「人間も楽器である」という考えのもと、体の不調を「調律」する「音叉療法」を行っていますが、ある音を聞いただけで、3ヵ月間も目が見えなかった人が見えるようになったという症例もあるそう。

「音で治療する理由は、人体の約70％が水分で出来ているため、音の振動がすみやかに伝わり、音による治療効果が出やすいためです。音は神経、筋肉、リンパ、血液、骨まで一度に調整するため、全身のアンバランスからきている病気を治すのに適しています。最近では、アトピー性皮膚炎、腰痛、肩こり、筋肉痛などにも効果が見られますね」

そもそも人間が病気になる本当の理由は、人が本来あるべき姿からズレてしまうからだ、というのが丸山先生の根本的な考え方。

「このズレを治すには、身体だけでなく、心の中の無意識の領域にも働きかけて治療していくことが大切です。方法としては、『般若心経』のような大真理を心の無意識の領域に作用させることが、いちばん手っ取り早いのではないかと考えています。例えば『般若心経マンダラ』という図形を人に見せたり、背中から当てるだけで特定の病気は治ってくるようです。これからの医療は、ボディだけでなく、人間の核心部分へのアプローチも必要なのではないでしょうか」

遠赤外線セラミックスシート ふわふわ

（価格未定）

遠赤外線セラミックスシート「ふわふわ」

使用法
痛みのある部分に貼る、靴の中敷き、枕や敷きパッドに使用する、食器の下に敷くなど

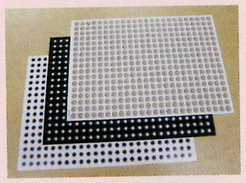
効果
生命力の活性化、有害電磁波カット、脳の活性化、ダイエット、痛みの軽減　など

丸山先生コメント

「当初は高価な水晶パワーを代替医療に取り入れていましたが、現在はケイ素を中心にした鉱物でできた特殊な遠赤外線放射セラミックスのシートを用いています。これを開発したとき、あまりに効き目が高かったので現代医学が不要になるのではと思ったほどです。このシートは従来のものとは異なり、24度近辺という常温で最高に気持ちのよい遠赤外線が出るようになっています。こちらもまったく副作用がなく、何度でも使用できるもの。不調だが病院ではわからないという人にはおすすめです。痛みは瞬時に消え、冷え症の改善やダイエット効果なども報告されていますが、生命力そのものを強化し、有害電磁波から私たちを守ってくれるというのが最大の特徴です。また、光トポグラフィーにより、脳の血流量が増加することもわかっています」

曼荼羅シート

A4サイズ×3枚組315円
（ダイヤ・ユニバース黒・ユニバース白）



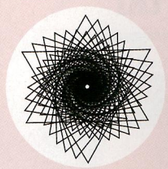
使用法
ダイヤ→ユニバース黒→ユニバース白の順番で重ねて、背中や不調のある部分に貼りつけて使用します。

効果
ダイヤ→古代より伝わる神聖幾何学「フラワーオブライフ（生命の花）」を基に作成。アレルギー、高血圧、呼吸器系・循環器疾患に効果的

ユニバース→エネルギーを吸収する内向きの渦と、放出する外向きの渦の図柄が一対になったもの。頭痛、関節痛など体の痛みを伴う症状に特に効果的

丸山先生コメント

「人間の皮膚には色や形を認識する受容体というものがあり、その情報が脳に伝達されることによってさまざまな効果が出てきます。実際に、脳の血流量などを測定する光ポトグラフィーという機械で調べたところ、この働きが証明されています。曼荼羅シートを背中に貼って光ポトグラフィーで脳の働きを調べると、前頭葉の血流が顕著に増え、脳の働きがよくなっていました。何をしても歩けなかった人が歩けるようになるなど、奇跡的な治癒が起こる場合も少なくないようです。シートは紙でできているので安価で副作用もまったくありません。シートの他にシール式のものもあり、種類も数百種あるので自分の気に入ったものをみるだけでもいい感じがするようです」



マンダラシート「ユニバース」白

マンダラシート「ユニバース」黒

マンダラシート「ダイヤ」

「丸山アレルギークリニック」
宮城県仙台市青葉区上杉5−1−1
☎022-712-5881
診療時間その他詳細はHP参照のこと。
http://maru-all.com/

「曼荼羅シート」などが購入できるヒーリングショップ「ユニカ」（☎022-721-3160）がクリニックに併設されています。通販もあり。
http://www.rakuten.co.jp/yunica/